

## 令和2（2020）年度入学試験問題出題のねらい・解答例 （学校推薦型選抜）

中村学園大学〔流通科学部〕

### 【小論文】

#### 〈出題のねらい〉

本小論文の出題にあたっては、流通科学部における学びの中心となる経営学・商学・経済学分野を見据えて題材の選択を行った。出問は、比較的平易な文章で書かれているが、「自分に私心がないか問う」「自分に命を預けてほしい、もしダメだったら自分の腹を切る」といった覚悟をもつ」等の稲盛氏の改革に取り組む姿勢や手法について文脈からしっかり読み込む力が求められている。文章自体は平易であるが、文章中には今までの高校生活ではあまり馴染みのない言葉もあると思われる。このため内容を理解するためには一定の読解力が必要であり、本学部で学ぶ上で必要となる学生の基礎的な能力を測定する上で適していると判断して採用した。

筆者の論旨を的確に捉えることができなければ解答は容易ではなかったと思われる。答案の中には、ただ単に自身の感想を述べただけのものも散見されており、それでは解答にならない。きちんと著者のロジックを把握し、それを自分自身で理解した上で、論理的かつ丁寧に説明することが求められているのである。

大学の学びにおいては、常に論理的に思考する能力が求められる。流通科学部を志望する受験生は、普段から社会での出来事に興味や関心を持ち、難解と思われる内容であっても新聞や雑誌、書籍に目を通し、自ら考え表現する力をつけておくことを期待する。